

じんのすけだに

甚之助谷上流山腹工の整備推進

手取川水系牛首川（石川県白山市白峰）

- 安全で安心な地域づくり
・観光の拠点地域における安全・安心確保

事業の概要

平成16年5月7日発生 of 土石流により別当出合の登山用吊橋流出や砂防新道への土砂堆積などの大きな被害を受け、年間約5万人が訪れる登山者に甚大な影響を与えました。また、平成18年9月7日にも別当谷上流で山腹崩壊があり、登山道（砂防新道）に影響を与えています。

甚之助谷上流部においては、昭和初期に建設された階段式の砂防堰堤の右岸袖部が破壊され、山脚の浸食が進んでいます。このまま浸食が進んだ場合、大規模な崩壊へと発展する可能性があります。斜面上部には、登山道（砂防新道）もあることから早急に対策工を行う必要があります。

整備効果

甚之助谷上流山腹工の完成により、更なる山脚浸食の拡大を抑えるとともに、登山道（砂防新道）の安全度を向上させます。

事業着手

平成19年度

平成21年度の事業内容

山脚浸食に伴う土砂災害に対する安全度の向上を図るため、甚之助谷上流右岸において山腹基礎工の整備を推進します。

位置図

